

## ～勤務先の新型コロナウイルス感染予防策に関するアンケート～ 新導入の「在宅ワーク」に71%が「成果あり」 認定事業「Cheer for Working Woman」指標に「在宅ワーク」を追加

株式会社サンケイリビング新聞社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：細井 英久）では、「リビング新聞」「シティリビング」「あんふあん」「ぎゅって」を通じて、女性に向けて生活情報を発信しています。また、全国約42万人の会員モニターに対し、アンケートを行っております。このたび、新型コロナウイルス感染予防策について、アンケートを行った結果、有職者684人が回答。勤務先で新たに導入された「在宅ワーク」利用者のうち、71%の人が成果に対して「上がった」「同じくらい」と回答。また、今後も「続けたい」と回答した人が73%と、これからの働き方に大きな影響を与えそうな結果となりました。

このような非常事態には、勤務先の柔軟性も問われます。当社では、今年1月より働く女性を応援する企業を認定する「Cheer for Working Woman」事業を展開。すでに10社の認定を発表しています。現在受け付け中の、第三次エントリーより、新型コロナウイルス感染予防対策で、在宅ワークを導入する企業が増加していることを受け、在宅ワークに関する質問を追加し、重点基準として審査しています。

### ◆今後も週2回で「在宅ワークを続けたい」

有職者684人中、勤務先で在宅ワークが今回新たに導入されたのは146人（21.3%）※表1。そのうち、半数の73人が在宅ワークを「利用した」と答えました。利用者中、「成果が上がった」と答えた人は27%、「同じくらい」は44%に。つまり、「出勤時と同程度以上」のパフォーマンスが出せていると思う人は71%ということに ※表2。

また、利用者中、今後も在宅ワークを「続けたい」と考える人は53人（73%）。「続けたい」人が、利用したい頻度は週2回（30%）が最も多く、次いで週3回、週4回となり、週の大半を「在宅ワーク」で過ごしたいと考える人がいることがわかりました。

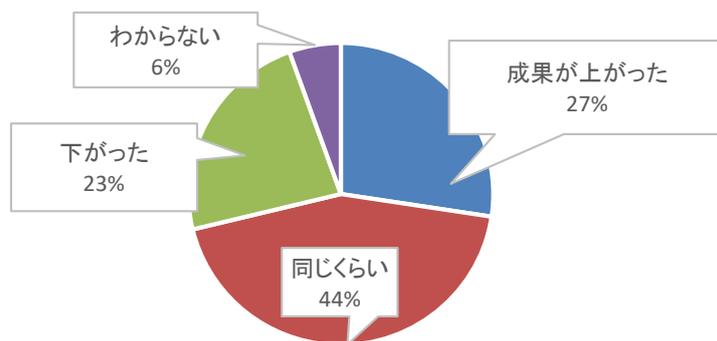
### ◆後ろに家族の下着が…在宅ワーク失敗談も

「通勤のストレスがなくなって快適」（30代・営業）という声がある一方で、「どうしても対面でない嫌だと言う、主にエルダー層の抵抗勢力がある」（30代・人事）という声も。困ったことや工夫している点は「夫も在宅勤務で作業スペースの確保が大変。同時に多くの人が利用しているためか、Wi-Fiも途切れがち。お昼ご飯に手間をかけて、満足感をあげている」（20代・秘書）。「ビデオ会議の際、家族の下着が後ろにぶらさがっているのに気づかず1時間の会議をやってしまった」（50代・総務）などの失敗談も。

表1 自社で新たに導入された対策（複数回答）

|    |                   |       |
|----|-------------------|-------|
| 1位 | アルコール消毒の設置        | 40.9% |
| 2位 | 時差出勤              | 27.5% |
| 3位 | 在宅ワーク             | 21.3% |
| 4位 | 社員へのマスク配布         | 20.9% |
| 5位 | 会食の禁止             | 16.8% |
| 6位 | 会議のオンライン化推奨       | 12.9% |
| 7位 | オンライン会議システムの導入    | 4.8%  |
| 8位 | 子連れ出勤OK           | 1.9%  |
| 9位 | 消費者への商品・サービスの無料開放 | 1.3%  |

表2 在宅ワークの成果



※アンケートはリビングWeb、シティリビングWeb、あんふあんWeb、ぎゅってWebで3/11～15実施（有効回答者数684）

## 「Cheer for Working Woman」とは？

「働く女性」が考える「働く女性を本当に応援する会社」について、独自基準をもとに認定する事業です。当社が発行する各媒体のユーザーに「働く女性を応援する企業について」の事前アンケートを実施。「働く女性を本当に応援していると思う会社とはどういう会社か」について、女性たちのリアルな声をもとに独自の基準を設定しています。



認定ロゴ

### ＜認定企業＞ ※2020年3月現在

#### 【大規模部門】 従業員1000人以上

株式会社ミュゼプラチナム

#### 【中規模部門】 従業員999人以下

ヒューマンアカデミー株式会社、株式会社ビースタイル、株式会社ビーボ、株式会社ヤマサキ

#### 【小規模部門】 従業員99人以下

一般社団法人日本テレワーク協会、大久保建設、株式会社ビューティースマイル、株式会社LiB、株式会社Waris

### ◆「Cheer for Working Woman」認定の流れ

エントリー企業は、Webサイトから以下のジャンルで構成された合計54項目に回答いただきます。

↓

オフィス環境／キャリア支援／業務の効率化／子育て制度／对外活動／社員の待遇

↓

事務局が採点。同規模企業（99人以下、999人以下、1000人以上）ごとに審査・認定・発表を行います。

### ◆新規人材事業と連携し、働く女性をさらに応援

認定企業の「働き方」や「採用」に関する取材を行い「シティリビングWeb」で情報発信を予定しています。また、転職未経験女性を対象にした、新規事業「キャリアのパーソナル・トレーニング」等と連携し、働く女性をさらに応援する企画を行ってまいります。

### ◆第三次無料エントリー受け付け中

今後も随時認定企業を追加・ホームページおよびリリースで定期的に発表してまいります。エントリーは無料。下記フォームへの回答をもって受付となります。第三次エントリーより、在宅ワーク導入の有無や社員利用率、成果等を基準に追加しております。

エントリーいただいたすべての企業様には、指標となった「働く女性を応援する企業について」のアンケート集計結果のサマリーを提供します。また、認定企業には、ニュースリリース以外の採用や広報等での活用を目的とした「認定ロゴ」活用のご提案も用意しておりますので、詳しくはお問い合わせください。

【アンケート回答フォーム】 <http://r.living.jp/cfww> 第三次エントリー締切:2020年4月1日

### ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社 新規事業開発室  
「Cheer for Working Woman」事務局 担当：寺山・濱村  
E-mail：cfww\_info@sankeiliving.co.jp